

欠席委員意見（小川委員）

前回も述べた通り、次期計画案は、新型コロナの影響による当面の危機への対応および経済活動を回復させるために必要な緊急対策と、世界に輝く国際イノベーション都市づくりの実現に向けた中長期的な視点での6つの施策の柱および基盤施策に分けて整理され、経済の早期回復に向けた取り組みとポストコロナを見据えた取り組みをバランス良くまとめて頂いたと考えており、**本案について異論はない。**

今後は、緊急対策の実行や感染状況の変化に応じた**医療体制の確保はもとより、デジタル化への対応、イノベーション創出、危機管理体制の強化などの取り組みを迅速かつ確実に推進**していくことをお願いしたい。

ウィズコロナ下での経済回復は産業ごとにばらつきがあり、とりわけ観光分野をはじめとするサービス産業の振興・回復に向けては難しい判断を迫られる局面が多いと思われる。愛知県におかれては、県内はもとより、県をまたぐ**移動や近隣県との送客・誘客に関するリーダーシップを引き続き発揮**して頂き、中部圏全体の振興に力を注いで頂きたい。

また、新型コロナが収束したとしても以前のような状況には戻らず、**急速に進んだデジタル化の流れはこのまま継続すると予想**される。加えて、既存の産業を根底から揺るがすイノベーションや、新たなパンデミックや大規模な自然災害など、今後も予測不可能なことが起こりうる。

次期計画の実行にあたっては、**世の中の変化や東京一極集中の是正に向けた議論等を注視し、計画の数値目標を柔軟に見直しつつ、目指すべき姿の実現に取り組んで頂きたい。**